

ちよつといひ話

～ 丙 戌 ～

「犬も歩けば***、」昔はお正月に「いろはカルタ」をしたものです。今年は戌年です。犬によっては神仏の使いをします。思い出しますのは駒ヶ根、光善寺の早太郎、正義の爲には己の命も厭いとわず戦う姿、伝説か実話かは存じませんが桃太郎の供をした犬、空海大師が高野山を開くにあたって犬が先導し、高野山の山頂にある霊地まで空海大師を導き賜うた犬、等々が思い浮かびます。最近では善入院の団参で四国八十八ヶ所を巡錫した折、出釈迦寺の奥の院（我拝師山の頂）まで白い犬が案内してくれました。犬は忠義、正義、義理、道理と言った義に関して重い責務を背負った動物でございます。神社には狛犬が魔除けの爲に祀られておりますし、高野山では四社明神として祀られています。義に関して、現在女性天皇容認の動きがあります。天皇は英語で Emperor もちろん男性名詞です。皇后なら Empress、女王なら Queen となり女性名詞です。それに媚殿を何と呼ぶのか興味津々です。国王は其の國々によって歴史があります。人情や刹那主義で事を起こすとハーフのように両性名詞を作らないといけません。賛否両論大いに結構ですが道筋を間違えてとんでもない方向に歩き出すと遭難します。そうならない様に願いたいものです。後になって後悔しない様に翼々考えて実行して欲しいと思います。第一子が女でも其の子を跡目にする考えがあるようですが、その後男子が誕生すれば当然長男に跡目を継がすべきでしょう。一度相続を狂わせると大変不義な事が起こりやすくなります。この事実を善入院にて教えを受けた人達は理解出来てみえます。皇室からこの理を壊す事になれば情けない事です。当山の関係者だけでも、戌年を縁に今年からは将来を見据えて義に於いて間違いの無い様に仏道を進みましょう。

善入院油掛地藏尊